

平成 29 年度 3 学部合同学生セミナー

責任者・コーディネーター	全学教育推進機構長・医学部脳神経外科学講座 小笠原邦昭教授		
担当講座・学科(分野)	全学教育推進機構 各学部担当講座		
担当教員	【医学部】 教務委員長、担当講座担当教員 【歯学部】 教務委員長、担当講座担当教員 【薬学部】 教務委員長、担当講座担当教員		
対象学年	6	期間	前期
区分	演習	単位数	1 単位

■ 学習方針（講義概要等）

専門職連携教育(Interprofessional Education)の一環として、5 学年まで修得した医学・歯学・薬学の専門知識と経験をもとに、3 学部の学生が症例を PBL 形式で検討する。各症例の診断、病態生理および治療を各学部で事前に検討しておき、それをもとにセミナー当日に学部間で意見交換を行い、患者への治療方針説明を共同でまとめる。それぞれの専門職がどのような観点から病に対してのいるかを知り、病者に対する多角的な見方を育てる。

■ 教育成果（アウトカム）

専門知識を修得した学生が、患者の立場に立ち他学部学生とともに症例検討することで、病者に対する多角的な見方と専門職連携の重要性を理解し、自職種役割の再認識と他職種尊重の姿勢を身につけることができる。また、価値観や特性の差を理解し、それぞれの能力を生かし連携するためのコミュニケーションスキル向上を意識するようになる。

（ディプロマポリシー）

医 DP 1, 3, 4

歯 DP 3, 4, 5

薬 DP 2, 3, 5, 6

■ 到達目標（SBOs）

- 1、医学、歯学、薬学それぞれの専門職として、各症例患者の立場に立ち、必要な情報を正しく収集・理解し、見解を説明することができる。
- 2、医療現場における各職種の専門性の違いと多職種連携の重要性を理解し、職種それぞれの役目を尊重し課題解決のため連携することができる。
- 3、患者尊重に基づくインフォームドコンセントの重要性を理解し、説明内容の検討ができる。
- 4、チーム作業に於いて、メンバー特性等を生かし、課題解決のため合意形成できるよう発言・行動することができる。

詳細については別途配布するルーブリックにて基準を明示する。

■ 成績評価方法

ルーブリックに基づき評価し、100点満点中60点以上を合格とする。
欠席者については別途指定するものとする。

■ 事前学修時間・内容

事前に提示された症例について、各学部の専門分野に関連して病態生理や治療方法等について、教科書や参考書、図書館を利用して調べておくこと。また、学部内で討議して他学部への確認点や学部内での治療方針を定めておくこと。以上の作業には、およそ7時間以上を要する。

■ 特記事項・その他

開催日：平成29年4月8日（土）
会 場：矢巾キャンパス
対 象：医学部・歯学部・薬学部 6学年